

農林水産大臣賞

たか ぜ

きりしま

竹子地区コミュニティ協議会(鹿児島県 霧島市)

「今日も明日も10年後も住みたい竹子」を目指したむらづくり

1. 地区の概要

霧島市竹子地区は、県のほぼ中央部に位置する霧島市の北西の鹿児島空港に近く、豊かな山林に囲まれた標高330m程度の丘陵地にある。水稻、茶、果樹、施設園芸(花き)、畜産を中心とした農業と、地域の課題は自分たちで解決するをモットーに地域づくりに取り組んできた。しかし、少子化・人口流出により、学校の存続危機など地域活力の低下が懸念された。

2. 団体の概要

明治後期に設立された地域の自治組織(現在は公益財団法人)の活動をバックボーンとして、小学校の児童数減少への危機感を契機に深刻化する地域課題解決のための地域づくり実働部隊として、住民有志と地域おこし協力隊により新たに創設された組織である。農業等の産業振興、加工・販売促進、生活環境、地域魅力アップ、定住促進を柱とする地域活性化計画の実現に向け、多様な地域づくり活動を展開している。

3. 団体の取組み

放任傾向にあった竹林に目をつけ、竹子の「竹」ブランド力を活かそうと竹林整備に取り組み、竹材販売のほか、たけのこの水煮やドレッシングなど、加工品の販売により、収益を確保し、活動財源に充当。

旧JA支所をふれあいサロン「たかぜバル」として改修・整備し、昼は食堂やカフェとして使用し、夕方以降は予約制で地区で唯一の居酒屋として営業。公民館での話し合い後の懇親会など、交流拠点・合意形成の場として貢献。

地区内の空き家調査を実施し、空き家を借り受け、移住を考えている人がお試し移住体験できる施設「さるくーる竹子」を開設・運営し、移住後の地域とのミスマッチリスクを軽減することにより、移住・定住者の増加に成果あり。

竹子地区の魅力を都市住民に広く発信するため、東京都大田区に地区のアンテナショップを開設し、地元の食材を使った総菜、弁当、菓子なども販売するなど関係人口拡大に大きく寄与。



竹林の整備



交流拠点「たかぜバル」



移住体験施設「さるくーる竹子」